

94/12/23

小沼 通二 様

前略 この所暫く御無沙汰しています。ご存じと思いますが11月の25日に腎臓結石になり、途中一週間程自宅に帰りましたが再び痛み始めて入院し、12月19日に結石が体外に出て退院しました。結局3週間の内2週間病院で過ごしました。悪性では無いと言う話ですが、肝臓にも異常があり数か月後にまた断層写真をとります。今年の夏は老齡化に対する配慮と異常な酷暑に対する対応を誤り、その結果体重急減と自律神経失調症、更に今度の結石で体重は依然減少したままで、一向に体力は回復しません。私の高校の先輩で伏見さんと同窓の国立第2病院の名誉院長の話では、気分を楽にして半年以上掛けて徐々に回復を計る以外には健康を元に戻す道は無いよ、とのご託宣です。

そこで例のパグウォッシュ会議の担当ですが、私は伏見さんの御指名で出納責任者一形の上では経理委員長一を担当して来ましたが、来年の非常に多忙な準備期間を現状のままで継続する事はとても健康上自信が在りません。募金委員会も発足していませんので、これまでの仕事は何とか凌いで来ましたが、募金委員会の遅れを考えるとこれからは相当の負担加重が予想され、とても不慣れで健康上不安定な私の耐えられる所ではありません。そこで残念ですが命には代えられないので、この際出納責任者の辞任を申し入れる以外に道は無いと言う結論に達しました。先日菅沼さんに連絡して12月末で一応経理を一時的に精算して引継ぎに入りたいと依頼しました。以上誠に勝手な話ですが、私は核廃絶なら未だしもパグウォッシュ会議と心中する意思はありませんので、どうかご理解をお願いします。すでに森さんには意向を伝えました。残念ながら後継者についても心当たりは在りません。

大塚さんも痔の手術で入院中ですが、我々の年代も遅まきながら老齡化と言うものに実体験として遭遇して、これは大変だと言う事を今さながら痛感しています。以上突然ですが、傷口が小さいうちに決断して少しでも迷惑を少なくしたいと思いますので、何とか了承して下さい、お願いします。

来年はNPT延長会議の年です。今後の核の世界がどのように展開するか、腰を据えて注目し、良く考えて対策を立てるべきと思います。末筆ながら良い新年をお迎え下さい。宜しく。お元気で。

所沢 立花 昭